

ラッフルズ・メディカル・グループ(RAFG)

ワクチン接種減もコスト管理奏功で大幅増益。中国の海外団体旅行解禁で医療ツーリズムの追い風に期待

シンガポール | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG RFMD:SP | REUTERS RAFG.SI

- 2022/12通期は、売上高が前期比5.9%増、EBITDAが同47.0%増、純利益が同70.5%増。治療目的の外国人患者がシンガポールに戻ってきた。
- 新型コロナワクチン接種減少と中国ゼロコロナ政策で売上の伸び鈍化も、ヘルスケアサービス部門のコスト管理が奏功して増益に寄与した。
- 国策の医療ツーリズムによる外国人訪問者増加への中心的役割を担う。中国政府による海外団体旅行解禁による追い風が期待される。

What is the news?

2/27発表の2022/12通期は、売上高が前期比5.9%増の7.66億SGD、EBITDA(利払い前税引き前・償却前利益)が同47.0%増の2.36億SGD、純利益が同70.5%増の1.43億SGD。国境の再開、および2022年下半年に新型コロナ感染予防に係る規制が緩和されたことに伴い、外国人患者がシンガポールに治療を求めて戻ってきたことが業績を押し上げた。消耗品費が同26%減の65百万SGD、人件費が同12%減の3.41億SGDなどコスト管理や人員配置の改善が増益に貢献した。

2H(7-12月)は、売上高が前年同期比1.1%増の3.84億SGD、純利益が同87.5%増の83百万SGD。同社が非中核事業と位置付けている新型コロナワクチン接種センター関連減少、および中国ゼロコロナ政策の影響で増収率が減速もコスト管理改善が業績を押し上げた。

通期セグメント別業績は以下の通り。①ヘルスケアサービス部門は、外部売上高が前期比11%増の4.90億SGD、税引き前利益が同2.1倍の1.66億SGD。②ホスピタルサービス部門は、新型コロナのPCR検査件数減少の影響で外部売上高が同2%減の2.68億SGD、税引き前利益が同11%減の21百万SGD。③投資持ち株部門は、外部売上高が同6%増の7百万SGD、税引き前利益が同56%減の10百万SGD。

How do we view this?

シンガポールでは、タイと同様に医療ツーリズム(観光)が重点産業として国策で推進されており、医療目的でシンガポールを訪問する旅行者は100万人を超える。同社グループも医療ツーリズムを主要事業と位置付け、「ラッフルズ国際患者センター」を開設。同センターを用いることで病院での医療サービスのみならず、航空券やホテルの手配、通訳者紹介に至るまで多岐にわたるサービスが提供される。また、シンガポールは周辺諸国にない強みとして、がん治療などの先進的治療サービスの水準が高い。そのため、医療費が高くとも多くの患者が訪れている。

シンガポール政府観光局(STB)は23年の外国人訪問者数を新型コロナ禍前の19年が1900万人だったのに対し、1200万~1400万人(22年実績630万人)と予測。中国政府が今年2月から既にシンガポールを含む20カ国を対象に海外への団体旅行を解禁したことで上振れが期待されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=101.08円

事業年度	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3F	2024/3F
売上高(百万SGD)	568	723	766	758	794
当期利益(百万SGD)	65	84	143	103	110
EPS(SGD)	0.04	0.04	0.08	0.06	0.06
PER(倍)	37.50	37.50	18.75	24.59	23.44
BPS(SGD)	0.48	0.51	0.51	0.57	0.59
PBR(倍)	3.13	2.94	2.94	2.63	2.54
配当(SGD)	0.03	0.02	0.00	0.03	0.03
配当利回り(%)	2.00	1.33	0.00	2.00	2.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

 配当予想(SGD) **0.03** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **1.50** 2023/2/28

会社概要

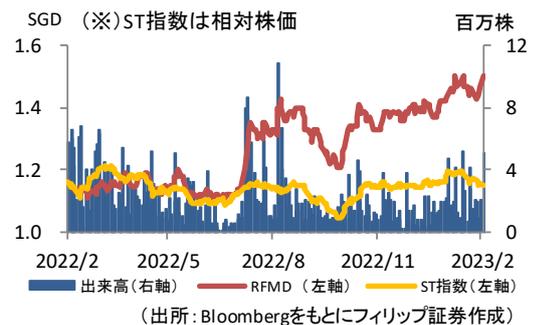
1976年設立のシンガポール唯一の民間医療サービス機関。シンガポールのほか中国、日本(大阪市)、ベトナム、カンボジアの14都市で医療施設を運営する。毎年200万人を超える患者と、7千の法人顧客にサービスを提供。2千700人を超えるスタッフの中には430人近い専門医が含まれる。

①三次病院(先進技術と特殊医療機器を必要とする高度かつ専門的医療を行う病院)の「ラッフルズ・ホスピタル」、②かかりつけ医や健康診断・予防接種などを行う「ラッフルズ・メディカル」、③歯科医院ネットワークの「ラッフルズ・デンタル」、④伝統的な東洋医療の「ラッフルズ・チャイニーズ・メディカル」、⑤医療保険サービスの「ラッフルズ・ヘルス・インシュアランス」、⑥医療保険サービス、国内外の医療専門職の研修・訓練を行う「ラッフルズ・ヘルスケア・インスティテュート」、⑦消費者向けヘルスケア部門の「ラッフルズ・ヘルス」などを擁する。

このようなグループ化により、すべての患者にシームレスなケアを提供できることを強みとしている。

企業データ(2023/2/28)

ベータ値	0.98
時価総額(百万SGD)	2,748
企業価値=EV(百万SGD)	2,651
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	2.3



主要株主(2023/2)

1.RAFFLES MEDICAL HLDGS PTE	42.21
2.Loo Choon Yong	10.81
3.GLOBAL ALPHA CAPITAL MANAGEMENT	9.09

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

 笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。